

# 令和4年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（株式会社ハザケン）

## <デジタル化促進モデル事業の実施内容>

導入機器：自動追尾型TS

## <工事概要>

工事名：道修（保）第01-06-1号県道佐喜浜吉良川線法面保護対策工事

請負代金：3,630,000円、工期：令和6年10月23日～令和7年2月9日

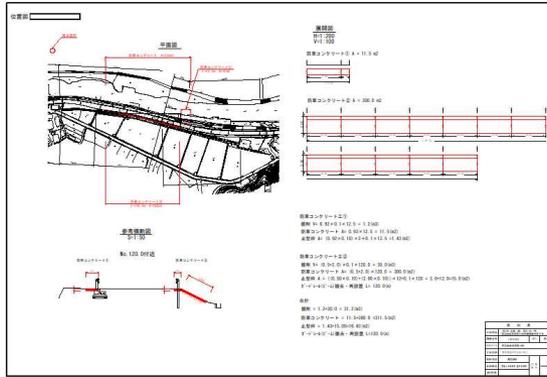
工事内容：防草コンクリートA=312m<sup>2</sup>

## <参加者>

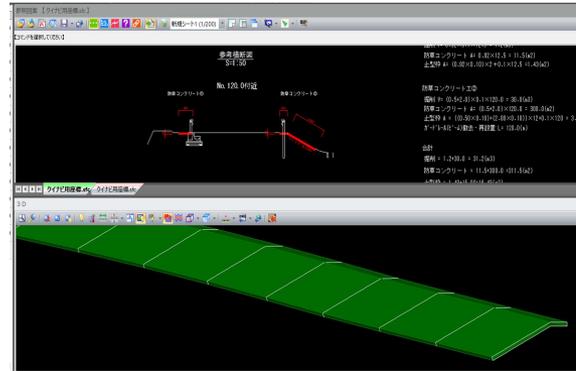
10名（建設会社：3社4名、県職員：4名、市町村職員：2名）

平面図

横断面



3次元設計データ



自動追尾型TS



プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
起工測量 (※3次元起工測量ではない)	自動追尾型TS	3人・日	1人・日	-70%	各工種の起工測量を少人数で行う事ができました。さらに従来の方法より時間を短縮する事ができました。
3次元設計データ	外注	-	-	-	設計データを活用する事でその他の作業（測量等）効率がよくなり、作業員との打合わせもスムーズに作業ができました。
ICT施工	-	-	-	-	-
出来形管理 (※3次元出来形管理ではない)	出来形管理 杭ナビ・快測ナビ	2人・日	1人・日	-50%	各工種の出来形測量を少人数で行う事ができました。さらに従来の方法より時間を短縮する事ができました。
合計		5人・日	2人・日	-60%	今後のスキルアップで更に改善が可能

## 施工者のコメント

従来の測量は2人～3人で行う必要がありましたが、1人で作業が出来、作業効率が向上しました。今後はICT施工も取組んで行きたいと思っています。

## 発注者のコメント

ICT活用工事ではなく普段使いとしての活用であったが、ICT機器を活用することにより作業効率が向上している。3次元設計データを内蔵化しICT活用工事の各プロセスにおいても活用することでさらなる効率化が期待できるため、今後のスキルアップした取り組みによる生産性向上を期待する。